

## 郵政民営化委員会（第233回）議事要旨

日 時：令和3年7月21日（水）14:30～17:00

場 所：web形式にて開催

出席者：山内委員長、関口委員長代理、青野委員、佐藤委員、関委員

（敬称略）

日本郵政株式会社 西口常務執行役、田中執行役、野水経営企画部付部長

日本郵便株式会社 五味郵便・物流業務統括部長、川原経営企画部課長

株式会社ゆうちょ銀行 植田経営企画部長

株式会社かんぽ生命保険 宍戸執行役員

### 1. 議事

- ・ かんぽ生命の新規業務に係る事前届出制の運用（方向性（案））について
- ・ 日本郵政による自己株式の取得及び消却について
- ・ 共創プラットフォーム関連の動きについて

### 2. 委員会での説明・意見等

#### ○ かんぽ生命の新規業務に係る事前届出制の運用（方向性（案））について

##### ① 【資料233-1】に基づき事務局より説明

##### ② 委員からの意見等

- ・ 民営化を進めるため、事前届出制移行後、かんぽ生命がより高い自由度をもって意思決定し、また、スピーディーに新商品導入等ができるようにすることが重要である。国会における附帯決議にも配慮する必要があるが、認可制で求めていた書類の煩雑さ等から解放することが届出制の趣旨である。これらを踏まえ、事務局の案のとおり、手続を簡素化し、迅速に進めていくことを目指すという方向性に賛成であり、事務局は今後、これに沿って更に具体化のための検討を進めてほしい。

#### ○ 日本郵政による自己株式の取得及び消却について

#### ○ 共創プラットフォーム関連の動きについて

##### ① 【資料233-2、233-3-1～2】に基づき日本郵政より説明

##### ② 委員からの意見等

- ・ デジタル化を進めて効率を上げて、安心と信頼を得てほしい。JPデジタルの飯田社長とも対話したが、ここにいかに予算と権限を集めていくかが大事で、チャレンジしてほしい。

（⇒ （日本郵政）増田社長もしっかりサポートする体制をとっている。目の前の問題を1つ1つ解決したい。進捗については委員会に報告していきたい。）

- ・ 楽天は、物流、モバイル、金融、ECなど、総合企業であり、楽天、郵政、双方にメリットのある提携であると思う。双方へのメリットをどのように考えているか。

（⇒ （日本郵政）出資より前から楽天との協業は考えていた。楽天はEC、郵政は配送網を持っているが、JPの物量が増加することで配送コストが下がり楽天の倉庫を使う人にもメリットがあり、競争力もあがっていく。金融についての提携もしっかり進めていきたい。）

- ・ リアルの郵便局ネットワークとデジタルの融合について、効率化を進めていくことはもちろんだが、地方の高齢者などがITリテラシーを持っていない人がたくさんいる、地域に存在する郵便局の意義、役割として貢献できると思うしその意義を理解してほしい。日本郵政に、具体的な方針や考えはあるか。

（⇒ （日本郵政）高齢者もデジタルが使いやすい街にする役割も郵便局に求められていると思う。持てる資源を有効に活用して、地方でデジタル化が進み、高齢者も使えるように環境を整えていく、郵便局がその役割を果たすべく地道に取り組んでいきたい。）

注) 議事要旨は事後修正の可能性があることに御留意ください。また、詳細については追って公表される議事録を御覧ください。